

( 参考様式 6 )

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和元年 9月4日

ふりがな	にいがたけんさどえつつみちくかっせいかけいかく
活性化計画名	新潟県佐渡江積地区活性化計画
ふりがな	さどし
計画主体名	佐渡市
計画主体コード	150002
計画期間	平成 24 年度～平成 30 年度
事業実施期間	平成 24 年度～平成 30 年度
活性化計画区域	江積地区

1 事業活用活性化計画目標の評価等

( 1 ) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	11.2ha	11.2ha	100%	

(コメント)

農業用排水施設が整備され、必要な農業用水を確保することで農業用水不足が解消された。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	基盤整備（農業用排水施設）	
事業内容及び事業量	ため池 1 箇所、揚水機 1 箇所	
事業実施主体	佐渡市	
管理主体	江積集落	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
	平成 30 年度	平成 31 年 3 月 22 日
事業の効果	ファームポンド等の整備により、安定した取水機能が確保され維持管理に係る負担が軽減された。 維持管理の省力化により安定した農業経営を目指す環境が整備された。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント) 本整備により、維持管理に係る労力及び費用が削減されるとともに、効率的な水管理が可能となり安定した農業経営が確立された。一方で農業経営者の高齢化、人口減少は加速しており、継続して担い手農家への農地集積等を促進し、地域の活性化を図っていく。
--

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 土地改良専門技術者	(氏名) 常木 一夫
(コメント) 工事完了により 11.2ha の農地において、定住等の促進に資する農業用水施設の機能が確保され、安定した用水供給と維持管理の省力化が図られたことで、事業活用活性化計画の目標は達成された。今後は、担い手農家への農地集積の促進等により、本地域農業が活性化されることを期待する。		

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の目標及び達成度	目標 佐渡市の高齢化率は、36.8%で、県平均よりも 10.5 ポイント高く、高齢化対策が地域にとって不可欠である。本地区は、小木半島のほぼ先端に位置し、真野湾に面した半農・半漁の集落で、農業の活性化が地域の活性化に不可欠である。しかし、地区の水源地は横井戸や流域のない小河川であり、慢性的な用水不
---------------	--

	<p>足に悩ませられており、地域の農業発展の阻害要因となっている。</p> <p>そこで、地域の優良農地を保全し、地域農業を活性化させるために、農業用用水施設を整備する。計画期間内における農業用用水施設の整備により、必要な農業用水を確保することで農業用水不足が解消されることから、定住促進させる。具体的な数値目標として、区域の人口減少率を抑える。</p>		
	目標値 A	実績値 B	達成率 C = A / B
	11.2ha	11.2ha	100%

## (2) 今後の方針

(コメント)

担い手農家の確保・育成や生産の振興を図り、ハード・ソフトの両面から地域農業の活性化を促進することにより、地域住民の定住化に繋げる。

## (3) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 土地改良専門技術者	(氏名) 常木 一夫
<p>(コメント)</p> <p>用水供給機能が確保された事により、維持管理の省力化と安定的な農業生産が可能となる環境は整備された。今後は、これら優良農地の活用を担う担い手農家の育成と中山間地域直接支払制度等、ハード・ソフト両施策の活用により農村の振興が図られ、離島中山間地域の人口減少に歯止めがかかることで本地域農業が持続的に発展することを期待する。</p>		

### 【記入要領】

- (1) 計画主体コードは年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第16の1の(3)のア及びイに基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。